

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 10165476
PUBLICATION DATE : 23-06-98

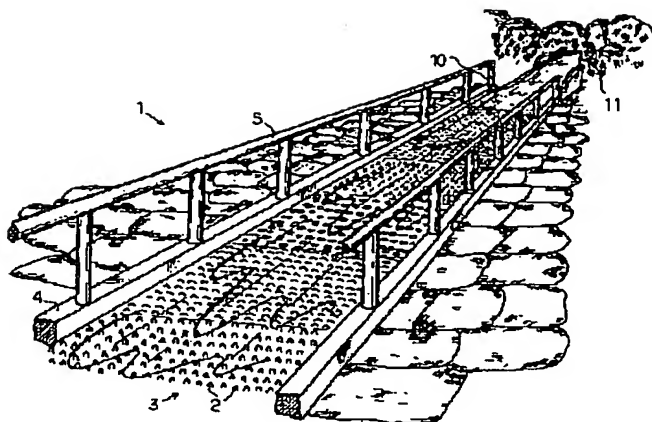
APPLICATION DATE : 06-12-96
APPLICATION NUMBER : 08357455

APPLICANT : SAITO KAZUO;

INVENTOR : SAITO KAZUO;

INT.CL. : A61H 39/04 E01C 15/00

TITLE : HEALTH PROMOTION PROMENADE
USING PROTRUSIONS AND HOT
WATER TOGETHER



ABSTRACT : PROBLEM TO BE SOLVED: To enable to stimulate therapy points on a foot sole effectively warming the foot by hot water, especially hot spring water, to promote blood flow, by equipping a hand rail part to support a body in the side of a walking part with protrusions on the bottom face and flowing hot water on the walking part.

SOLUTION: A walking part 1 of this health promotion promenade is slightly inclined and formed to have a width on which two or three adults can walk, both side parts of the walking part 1 are covered by a frame body 4 and hand rails to support a body is equipped on the frame body. Plural protrusions 2 are equipped on the bottom face of the walking part 1. Protrusions 2 are formed in a wave form or a mound form to enable to effectively stimulate therapy points on a foot sole and preferably has different shapes at different places on the walking part 1. A hot water port 11 to flow out hot water 10 is equipped on the tip end part of the walking part 1 to usually flow hot water 10 from the hot water port 10 to the walking part 1 to keep the walking part 2 warm.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-165476

(43) 公開日 平成10年(1998) 6月23日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

A 6 1 H 39/04

A 6 1 H 39/04

D

X

E 0 1 C 15/00

E 0 1 C 15/00

審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号

特願平8-357455

(22) 出願日

平成8年(1996)12月6日

(71) 出願人 595049264

斉藤 一夫

群馬県邑楽郡大泉町大字吉田1221番地17

(72) 発明者 斉藤 一夫

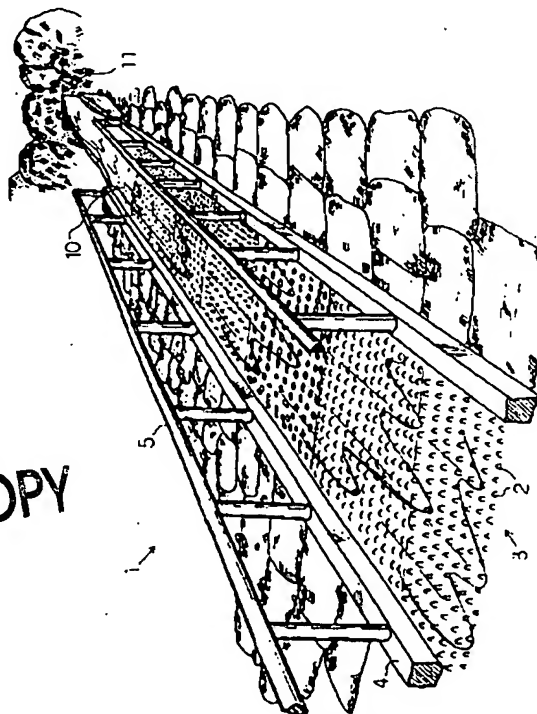
群馬県邑楽郡大泉町大字吉田1221番地17

(54) 【発明の名称】 突起物と温水を併用した健康促進遊歩道

(57) 【要約】

【課題】 足の裏のツボを刺激すると共に、温水、特に温泉水により、効果的に足を暖め血行を促進させることができる突起物と温水を併用した健康促進遊歩道を提供すること。

【解決手段】 底面に突起物を設置した歩行部と、該歩行部の脇に設置した、体を支えるための手摺部と、前記歩行部に流水される温水とで構成する。



BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

【請求項1】 底面(3)に突起物(2)を設置した歩行部(1)と、該歩行部(1)の脇に設置した、体を支えるための手摺部(5)と、前記を歩行部(1)に流水される温水(10)とで構成される突起物と温水を併用した健康促進遊歩道。

【請求項2】 前記突起物(2)の形状が、歩行部(1)の場所により異なる請求項1記載の突起物と温水を併用した健康促進遊歩道。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、突起物を有する歩行部に温泉等の温水を常時流水し、前記歩行部の上を歩行することで、温熱効果とツボ刺激効果とにより健康促進を發揮することができる突起物と温水を併用した健康促進遊歩道に関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、足の裏にはたくさんのツボが集中し、それらのツボを刺激することにより、腰痛や肩こり、また貧血や疲れ目等の症状を緩和することが周知とされている。そのため昨今より、サンダルやスリッパ等の底面に、複数の突起物を設置し、装着しながら足の裏のツボを刺激する商品が開発されている。

【0003】また、足の裏に湿布を貼着させたり、温水に浸し暖めることにより、足の血行を促進させて身体の疲れを解消させる方法もなされている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、突起物を設置したサンダルやスリッパ等に於ては、突起物によりツボを刺激することはできるが、足の血行を促進させるまでには至らなかった。また、突起物の形状や大きさが一定であるため、特に優れたツボ刺激効果は望めなかった。

【0005】また、足の裏に湿布を貼着したり、足を温水に浸し暖めることは、疲労回復に効果的であるが、ツボを刺激させることは不可能であった。

【0006】本発明は上記の点に鑑み、温水、特に温泉水により、効果的に足を暖め血行を促進させながら、足の裏のツボを刺激させることができる突起物と温水を併用した健康促進遊歩道を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は上記課題を達成するために、底面に突起物を設置した歩行部と、該歩行部の脇に設置した、体を支えるための手摺部と、前記歩行部に流水される温水とで構成される。

【0008】また、前記突起物の形状が、歩行部の場所により異なるように設置する。

【0009】上記構成により、歩行部を歩行するだけで、突起物により足の裏のツボを効果的に刺激し、更に、歩行部に流水される温水(温泉水)により、足を暖めて血行を促進させることができる。なお、本発明の突

起物と温水を併用した健康促進遊歩道は、温泉地やリハビリテーション施設に設置すれば最も効果的である。

【0010】

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態を、図1乃至図5に基づいて説明する。なお、図1は全体図、図2は使用状態図、図3は他の実施例、図4及び図5は使用状態をそれぞれ表す。

【0011】本発明の突起物と温水を併用した健康促進遊歩道は、温泉地の湯治場や、病院等のリハビリテーション施設に設置することが好ましく、特に、温泉水を利用すれば、更に優れた効果を發揮することができる。

【0012】本発明の突起物と温水を併用した健康促進遊歩道は、底面3に突起物2を設置した歩行部1と、該歩行部1の脇に設置された、体を支えるための手摺部5と、前記歩行部1に流水される温泉等の温水10とで構成される。

【0013】前記歩行部1は、図1に示すように僅かに傾斜しており、大人2～3人が自在に歩行できる幅で形成されている。かかる歩行部1の両脇部分は枠体4で覆われており、該枠体4には体を支えるための手摺部5が設置されている。また、図5に示すように、歩行部1をサークル形状とし、該歩行部1を周回歩行すれば、長時間続けて利用することもできる。

【0014】前記歩行部1の底面3には、複数の突起物2が設置されている。該突起物2は、足の裏のツボ部分を効果的に刺激することができるように、波形若しくは突起状に形成されている。

【0015】また、前記突起物2の形状は、歩行部1の場所により異なるように設置するのが好ましい。例えば図3に示すように、A部分では尖頭状の突起物2が、B部分では突起状の突起物2が設置されている。また、C部分では半球状の突起物2が、D部分では大小の突起物2がそれぞれ設置されている。前記構成により、足の裏をさまざまな強さで刺激することができる。

【0016】前記歩行部1の先端部分には、温水10を流出する温水口11が設置されている。該温水10は、温水口11より常時歩行部1に流水されており、歩行部1を保温している。

【0017】また、前記温水10は、太陽エネルギー等を利用した設備により、水道水を人工的に一定の温度に暖めたものでも構わないが、特に、疲労回復や皮膚病に効果を發揮する温泉水を利用することが好ましい。また、人工温泉水に、温熱効果を發揮する薬品を混入させてもよい。

【0018】

【発明の効果】以上説明してきたように、本発明の突起物と温水を併用した健康促進遊歩道は、上述の構成とすることで以下に示す効果を奏するものである。

【0019】歩行部を歩行するだけで、突起物により足の裏のツボを効果的に刺激し、同時に、歩行部に流水さ

れる温水（温泉水）により、足を暖めて血行を促進させることができる。そのため、腰痛や肩こり、また貧血や疲れ目等の症状を緩和することが可能となる。

【0020】また、突起物の形状は、歩行部の場所により異なるように設置されているので、足の裏の刺激強度を自在に調節できる。

【0021】なお、本発明の突起物と温水を併用した健康促進遊歩道は、温泉地の湯治場やリハビリテーション施設に設置すればより優れた効果を発揮する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の突起物と温水を併用した健康促進遊歩道の全体図を表す。

【図2】本発明の突起物と温水を併用した健康促進遊歩道の使用状態を表す。

【図3】本発明の突起物と温水を併用した健康促進遊歩道の他の実施例を表す。

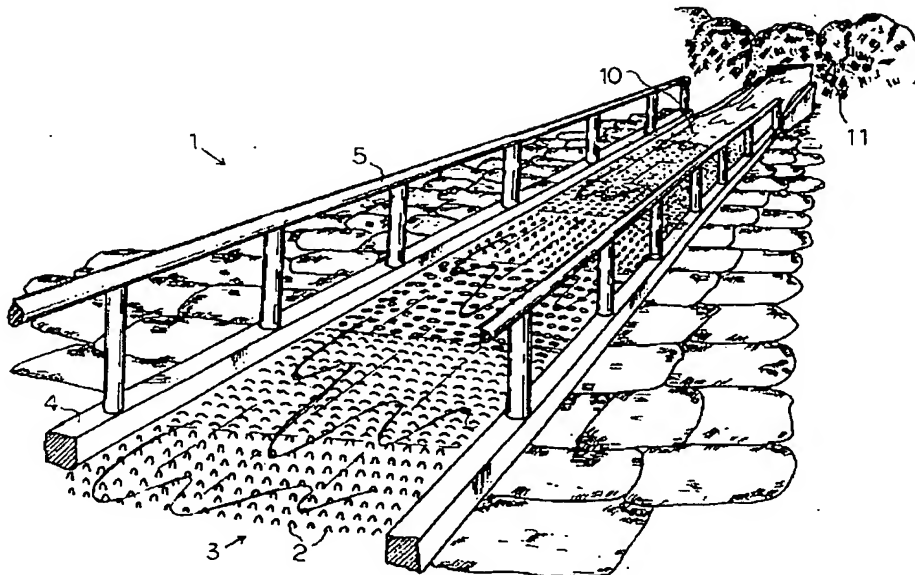
【図4】本発明の突起物と温水を併用した健康促進遊歩道の使用状態を表す。

【図5】本発明の突起物と温水を併用した健康促進遊歩道の使用状態を表す。

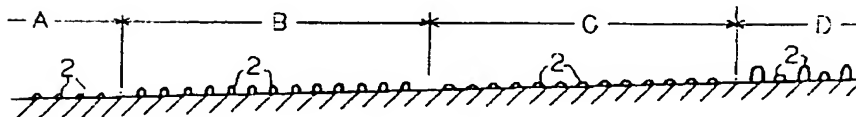
【符号の説明】

- 1・・・歩行部
- 2・・・突起物
- 3・・・底面
- 4・・・枠体
- 5・・・手摺部
- 10・・・温水
- 11・・・温水口

【図1】

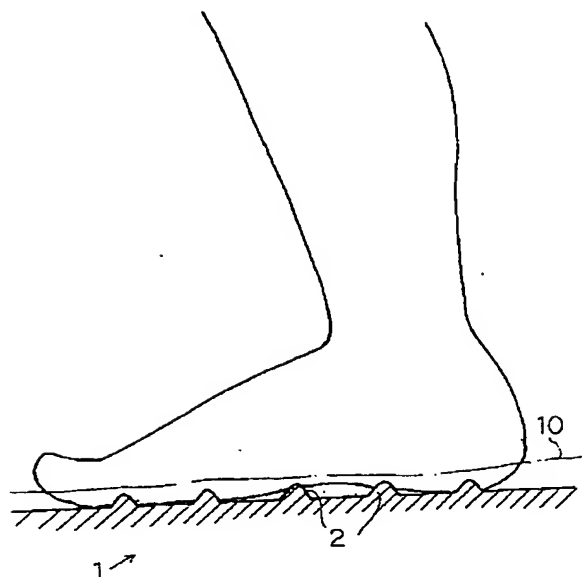


【図3】



BEST AVAILABLE COPY

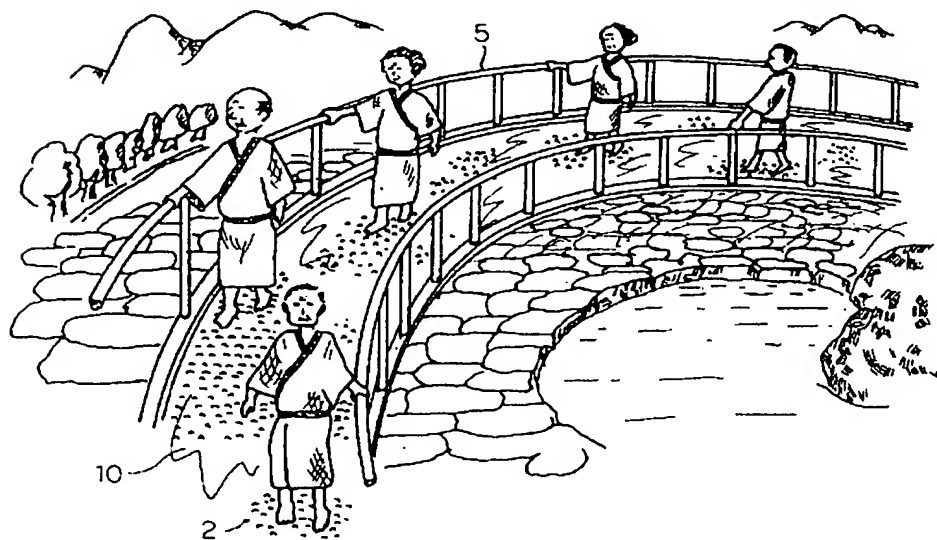
【図2】



【図4】



【図5】



BEST AVAILABLE COPY